

# 離島・SS過疎地等における石油製品の流通合理化支援事業費

令和2年度概算要求額 **44.6億円** (40.5億円)

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 離島・SS（サービスステーション）過疎地（※）等における石油製品の安定的かつ安価な供給を確保するため、離島における本土からの輸送費等の追加的なガソリンの流通コスト相当分の補助や石油製品の安定供給体制等を構築する取組、SS過疎地を中心としてSSの環境・安全対策等を支援します。

（※）SS過疎地：市町村内のSS数が3カ所以下の地域

### （1）離島のガソリン流通コスト対策事業費

輸送形態と本土からの距離に応じて補助単価を設定し、ガソリン価格が実質的に（追加的な流通コスト相当分）下がるよう支援します。

### （2）離島への石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業費

地域ごとに関係者（自治体、事業者（元売・地元販売店）、需要家など）による検討の場を設け、石油製品の流通合理化策や安定供給体制を構築する取組を支援します。

### （3）環境・安全対策等

SS過疎地を中心として、SS設備に係る環境・安全対策や流通合理化対策のため、

- ①地下タンクからの危険物漏洩防止のための補強工事や漏洩点検検査、
- ②地下タンク等の撤去、SSの統合・集約・移転等を支援します。

### 成果目標

- 本事業を通じて、離島・SS過疎地等における石油製品の安定供給の実現を目指します。

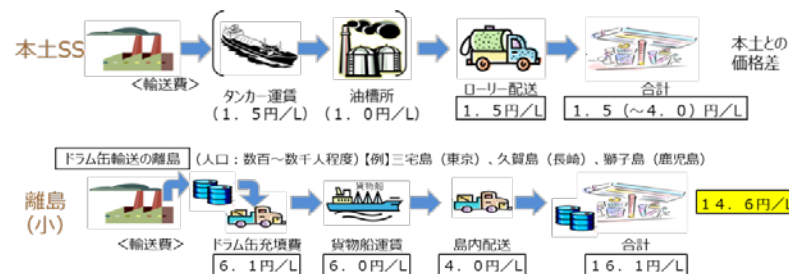
### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### （1）離島のガソリン流通コスト支援事業

- 離島におけるガソリンの追加的な輸送コスト相当分を補助



### （2）離島の石油製品の流通合理化策・安定供給体制の検討

- 島内油槽所や給油所の石油製品備蓄増強による安定供給体制の確立
- 石油製品の海上輸送・調達方法の見直しによる流通合理化 等

### （3）環境・安全対策等

- 漏洩防止対策、土壌汚染の早期発見
- 地下タンク等の放置防止、SSの統合・集約・移転 等

＜漏洩防止対策の例＞

＜地下タンク等の撤去のイメージ＞

- ・内面ライニング施工
- ・電気防食システム設置
- ・精密油面計設置
- ・危険物の漏れの点検に係る検知検査 等

